

園田学園女子大学×神戸大学

歴史・文化シンポジウム

生活の記憶をつなぐ — 地域歴史遺産の記録 —



移住のため但馬牛を引き、荷物を背負って約10キロの山道を越冬住宅へと向かう住民（香美町小代区熱田＝1969年12月25日/吉田真佐子さん提供）

2025年2月8日（土）13：30～

（13：00～受付開始）

場 所：櫛和館（4号館4201教室）

主催：園田学園女子大学

共催：神戸大学地域連携推進本部

後援：兵庫県教育委員会・尼崎市

お問い合わせ

園田学園女子大学 社会連携部 地域連携センター
〒661-8520兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

Tel:06-6429-9921

Email: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp

シンポジスト

井上 舞（神戸大学大学院人文学研究科特命講師）

藤本 悠（兵庫県立芸術観光専門職大学准教授）

モデレーター

大江 篤（園田学園女子大学学長・経営学部教授）

人口減少、少子高齢化が進むなか、地域のコミュニティが衰退し、文化遺産を維持することが困難な状況が続いている。そうしたなか、2019年に文化財保護法が改正され、「まちづくりに活かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域総がかりで取り組んでいくこと」が目標とされた。本学では、大学COC+事業以来、地域に多様に存在する文化遺産を「地域歴史遺産」ととらえて検討を加えてきた。しかし、「村じまい」「村おさめ」といい歴史を刻んだ地域が、跡形もなく消えてしまう状況が現実化するなかで、やがて消滅する可能性のある「営みの記憶」を記録に残し、アーカイブ化することが重要である。

このシンポジウムでは、兵庫県下の複数の地域で地域歴史遺産の保全活動を行ってこられた神戸大学大学院人文学研究科特命講師の井上舞氏、過疎地域の生活の知識継承に基づくデジタル・アーカイブの構築に取り組んでおられる兵庫県立芸術観光専門職大学准教授の藤本悠氏にご報告いただき、地域歴史遺産の記録化について考えていきたい。

【プログラム】

13：00 受付開始 4号館（櫛和館）2階 4201 教室

13：30～13：50 趣旨説明 大江篤（本学学長）

13：50～14：20

「「村の記憶」を「地域の歴史」へー兵庫県朝来市の活動事例からー」

井上舞（神戸大学大学院人文学研究科特命講師）

14：20～14：50

「地域資源のアーカイブと利活用に向けた取り組みについて」

藤本悠（兵庫県立芸術観光専門職大学准教授）

15：05～16：00 ディスカッション

参加費：無料

お申込み期間：2025年1月14日（火）～2月5日（水）

お申込み方法：下記URL、QRコード又はメールより

（氏名、年齢、住所、連絡先）を記載の上、お申込みください。

（URL）<https://forms.gle/aXjhVByJm4EABV6g6>



申し込み完了後、受講案内をメールでお送りいたします。



SONODA
SONODA Women's University | SONODA Women's College

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部